

新CIRの皆さん、鹿児島へようこそ!

新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか来鹿できていなかった鹿児島市CIR(国際交流アドバイザー)の皆さんが、やっと着任することができました! 早速、新CIRの皆さんにお話を伺いました。

Q1.どちらのご出身ですか?

(レベッカ) アメリカの西海岸にあるワシントン州・シアトルです。
(劉) 中国安徽省天長市の出身です。
(ソヨン) 韓国江原道出身です。

Q2.国際交流アドバイザーになろうと思ったきっかけは?

(レベッカ) もともと翻訳が好きで翻訳関係の仕事がしたいと思い、また日本で言葉を通して様々な人と交流して、人のために役に立つような仕事をしてみたいからです。
(劉) 愛媛大学に交換留学中、友達のCIRから国際交流員の仕事について聞いたり、留学生として国際交流イベントや学校訪問などの活動にも参加したことがきっかけで、卒業した後はぜひ国際交流の仕事をしたと思いました。
(ソヨン) 日本語を勉強していた時、私もいつも自分の日本語が通じるのか不安だったので、私のような悩みを持っている方を応援したいという気持ちがあったからです。

〈登録団体紹介〉 鹿児島市国際交流センターの登録団体を紹介します!

アンクルンピネカ鹿児島

インドネシアでアンクルンに出会い、その音色に魅せられ楽器一式を持ち帰り、鹿児島大学インドネシア人留学生や一般社会人に呼びかけ、平成14年春、活動の会「ピネカ」を作りました。たくさんの民族や宗教で構成されるインドネシア。そんな「さまざまな」の意のインドネシア語「BHINNEKA」がグループ名。国際交流の場や、老人施設等でボランティアの演奏活動をしています。

主な活動

- ・花見歓迎会 ・ほほえみ(地域生活支援事業所)訪問
- ・料理講習会(インドネシア料理)
- ・和服着付及び茶道教室 等



▲国分城山公園へ花見大会



▲着物を着てお茶会

皆さん一言

留学生の皆さんは、異国の地で新しいことを学びながら忙しい日々を送っていますが、留学生にとってこのアンクルングループの「BHINNEKAピネカ」がホッと一息つける場です。さらに、また、鹿児島での楽しい思い出をたくさん作ってこの地を「第二のふるさと」と思ってもらえたら嬉しい限りです。そして、帰国した留学生の皆さんが鹿児島大学で学んだことを深く研鑽し、いろいろな分野で活躍し、その子供たちも一緒に鹿児島市の私達に会いに来てくれたら幸いです。

連絡先
〒891-0151 鹿児島市光山1-14-30 中村 ももえ
TEL:099-262-1240 FAX:099-262-2616
Email im1127@s4.dion.ne.jp

Q3.鹿児島印象は?

(レベッカ) 自分の出身地と同じく、海の近くにある自然豊かな街でありながらも、街が活気溢れているところだという印象を受けました。あと、夏がすごく蒸し暑いです!
(劉) 桜島は雄大で、鹿児島の人々はマグマシティーどおりとても熱心であたたかいです。食べ物美味しいし、自然が多いし、とても住みやすい町です。
(ソヨン) 鹿児島には6年前交換留学で来たことがあります。その時、とても良いと思っていたので、また、鹿児島で生活ができることがとても嬉しいです。

Q4.これから挑戦してみたいことは?

(レベッカ) 実は極度の人見知りなので、もっと自信をもって人前で発表ができるようにになりたいです!
(劉) この仕事や日常生活を通して色々吸収して日本と鹿児島の文化について学び、自分の文化についても学ぶ機会になればいいなと思っています。
(ソヨン) 幅広い年齢層の日本の方に韓国の事を紹介したいと思います。また、日本の方に韓国を紹介するだけでなく、韓国にも鹿児島の事を紹介したいと思っています。

鹿児島県日中友好協会

本会は、鹿児島県と中華人民共和国(以下、「中国」という。)の経済、文化、スポーツ、教育等の交流を図り、相互の理解と友好親善に寄与することを目的としています。

主な活動

- ・4月 中国人養父母恩徳清明祭
- ・5月～1月 チャイナサロン(中文談話室)
- ・9月 全日本中国語スピーチコンテスト鹿児島大会
- ・10月 黄興先生顕彰祭 等



▲中国人養父母清明祭



▲チャイナサロン(中文談話室)

皆さん一言

今年は日本と中国が国交を回復してから50周年目を迎えます。日中間の友好に陰りのある昨年、鹿児島県日中友好協会はこれからの新たな半世紀に向かって、隣国との友好のため鹿児島に在住の多くの中国留学生の皆さんと、日本の若い世代の皆さんとが今こそ仲良し交流を深めて欲しいと願っています。協会もその為の、橋渡し役を務めていきたいと思っています。

連絡先
〒890-0054 鹿児島市荒田1-9-4 鎌田ビル1階
鹿児島市日中友好協会事務局
TEL:099-254-4908 FAX:099-254-4950
Email kamatajj@gmail.com URL: jcfak.com

講座・イベント カレンダー

2022年 10月 ▶ 2023年 2月

10月【アジアン・鹿児島 オンライン音楽祭】

●内容: アジア各国の青少年団体が披露する伝統音楽等を観賞。出演国からの地域紹介、質疑応答を通じた国際交流も楽しめます。参加国は中国、タイ、マレーシアの3か国を予定。 ●対象: どなたでも ●場所: 中央公民館(鹿児島市山下町5-9) ●日時: 10月16日(日) 13:30～15:30 ●参加料: 無料 ●定員: 100名 ●申込期限: 10月7日

10～12月【KIEX にほんご教室「さくら」】

●内容: 支援ボランティアがマンツーマンで日本語の勉強をサポートします。 ●対象: 市内に住むか通勤・通学する外国人 ●期日: 10月第4週目から受講者・支援者の都合が合う日時(週1回・全8回・各回1時間半・月曜を除く) ●参加料: 無料 ●定員: 15名程度(超えたら抽選) ●申込期限: 10月4日(火) ●その他: 詳細及び多言語での広報はホームページをご覧ください。



10～2月【世界の台所】

●内容: 外国人講師による自国の料理と文化を紹介する講座 a)アイルランド b)韓国 c)ベトナム d)英語でジャマイカ ●対象: 市内に住むか通勤・通学する人(※aは20歳・b～dは中学生以上の人、dは英語での受講が可能な人) ●日時: 日曜日の10:30-14:00 a)10月23日 b)11月13日 c)1月15日 d)2月26日 ●参加料: 1,000円(学生500円) ●定員: 各回10名(超えたら抽選) ●申込期限: 10月13日(木) ●その他: aからdのうち、希望の講座を選んでご記入ください(希望順に3つまで可)

10月【韓国語・韓国文化講座】

●内容: 韓国語入門講座。韓国語の文字である「ハングル」をゼロベースから徹底的に勉強します。韓国の最新情報や文化等も学びます。 ●対象: どなたでも ●日時: 10月25日～11月29日 毎週火曜18:30～20:00(全6回) ●参加料: 2,000円(財団会費1,000円) ●定員: 30名程度(超えたら抽選) ●申込期限: 10月14日(必着)

10月【新入外国人の歓迎交流会 ～パーティー～】

●内容: 新しく来鹿した外国人を歓迎する国際交流パーティー。文化体験ブース、楽しいレクリエーションなど、外国の方と触れ合い交流を深めてみませんか? ●対象: どなたでも ●日時: 10月30日(日) 13:30～15:30 ●参加料: 500円(国際交流財団会員・在住外国人・小学生以下は無料、当日入会可) ●定員: 100名(超えたら抽選) ●申込期限: 10月20日(木)

賛助会員募集! ～市民の皆さまによって支えられています～

鹿児島市国際交流財団は、多くの市民の皆さまによって支えられています。鹿児島市国際交流財団の活動に賛同して下さる賛助会員の皆さまを募集しています。

会員特典

- 各種イベントへの優先案内及び参加料金の割引
- 会報誌の送付や国際交流に関する情報の提供
- 財団ホームページでのバナー広告掲載(団体会員のみ)

年会費

- 個人会員(1口)1,000円(家族会員及び10月以降加入の会員は500円)
- 団体会員(1口)10,000円から

入会資格

- 当財団の目的(国際交流等)に賛同し、後援する個人または団体

申込方法

当財団事務局で受け付けております。申請書はホームページもダウンロードできますので、記入の上、郵送等によりお送りください。また、希望者には申込書を送付いたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

〒892-0846 鹿児島市加治屋町19番18号 TEL(099)226-5931
FAX(099)239-9258 E-mail:kokusai@kiex.jp HP:http://www.kiex.jp
[開館時間]9:00～21:00(日曜日及び祝日は9:00～17:00)
[休館日]月曜日(祝日と重なる場合はその翌日)・年末年始(12月29日～1月3日)

申込方法

参加をご希望の方は、はがき・FAX・Eメール等で
1.イベント名 2.住所 3.参加者全員の氏名(ふりがな) 4.年齢 5.電話番号を書いて下さい。

10月【「やさしい にほんご」勉強会】

●内容: 外国人住民に接するときに必要な「やさしい にほんご」について講話と演習で学ぶ ●対象: ボランティア活動等で外国人と接する人、又は国際交流・多文化共生ボランティアに興味がある人 ●日時: 10月13日(木) 18:30～21:00 ●参加料: 無料 ●定員: 20名程度(超えたら抽選) ●申込期限: 10月6日(木)

10～11月【茶道体験 ～おもてなしの日本文化～】

●内容: 茶道文化紹介プレゼンテーション、茶道体験 ●対象: 外国人 ●日時: 10月22日(土) 13:00～15:00、11月26日(土) 13:00～15:00 ●参加料: 無料 ●定員: 7名 ●申込期限: 10月14日(金)、11月18日(金)

11月【外国人住民のための一日無料相談会 一行政書士による専門相談～】

●内容: 外国人住民のビザ・在留資格に関する問題(期間更新・資格変更、在留特別許可・帰化等)、国際結婚・離婚、子供の国籍、家族の呼び寄せなどの相談 ●対象: 市内に住むか通勤・通学する外国人住民 ●日時: 11月20日(日) 13:00～16:00 ●参加料: 無料 ●定員: 6名 ●申込期限: 11月4日(金)

12月【国際交流探訪バスツアー】

●内容: 霧島への日帰りバスツアー。霧島神宮などの地元ならではの素晴らしいスポットを巡ったり、各種体験活動を楽しんでいただきながら、国際交流しましょう。 ●対象: どなたでも ●日時: 12月11日(日) 9:00～17:30 ●参加料: 2,500円(財団会員・小学生以下2,000円、3歳以下無料) ●定員: 60名(超えたら抽選) ●申込期限: 12月2日(金・必着)

12月【災害時の外国人対応研修会】

●内容: 災害時における在住外国人の避難行動支援について学ぶ ●対象: 市内に住むか通勤・通学する中学生以上の人 ●日時: 12月18日(日) 10:00～12:30 ●参加料: 無料 ●定員: 30名程度(超えたら抽選) ●申込期限: 12月8日(木)

12月【わくわくクリスマス2022】

●内容: クリスマス文化紹介プレゼンテーション、歌の時間、ゲーム、工作 ●対象: 3歳から6歳の未就学児 ●日時: 12月24日(土) 10:00～12:00 ●参加料: 無料 ●定員: 30名(超えたら抽選) ●申込期限: 12月16日(金)

鹿児島市国際交流だより

KIEXなび

Vol.34
2022.10

※KIEXとは、公益財団法人 鹿児島市国際交流財団の英語表記Kagoshima International Exchange Foundationの略称です。



Event Report イベントレポート

- 1 ボランティア勉強会
- 2 地域との連携事業
- 3 台湾文化・語学講座(入門～初級)
- 4 外国人相談事業
- 5 世界の台所(ウクライナ・スペイン・タンザニア)
- 6 インターナショナルカレッジ
- 7 マレーシア文化講座
- 8 七夕飾りを作ろう!
- 9 国際協力体験ワークショップ

- 新CIR紹介 ●登録団体紹介

リサイクル適正(紙へのリサイクル可)

Event Report イベントレポート



ボランティア勉強会

開催日 4月24日 参加者数 8名

ボランティア活動者の技術向上及びボランティア活動者相互の連携強化を図るため、ボランティア勉強会を実施しました。

「世界の台所(第1回)ウクライナ」の試作会も兼ねた今回の勉強会では、同事業のボランティアスタッフを対象に実際に講師と一緒に料理を作りながら、数量や切り方、写真、料理のコツなど、レシピ作成に必要な情報・材料を準備し、その後、グループごとにまとめて1枚のレシピを完成させる、また、作業の時間配分等を考えながら講座の流れを作るという作業をしていただきました。

ボランティアスタッフの皆様には、担当講座毎に試作会、レシピ作成、当日の事前準備など運営スタッフとして活躍いただいています。



地域との連携事業

1回目 維新ふるさと館訪問 ~加治屋町の皆さんと一緒に~ 開催日 5月8日 参加者数 25名

「維新ふるさと館訪問~加治屋町の皆さんと一緒に~」を開催し、加治屋町町内会の皆さん、外国人留学生の皆さん等計25名にご参加いただきました。

イベントでは、地域の日本人の皆さんと外国人の皆さんと一緒にグループを作り、同じく加治屋町にある「維新ふるさと館」を訪問しました。館内では、歴史解説員の先生の解説を聞いたり維新体験ホールにてドラマを観たりしながら歴史について学びを深め、また通訳スタッフを介しながら参加者同士が交流を楽しみました。

今回のイベントは、かごしま国際交流センターのある加治屋町とその地域との連携を深める事業のひとつとして開催。これをきっかけに、地域コミュニティとの繋がり、また更に地域への関心が深まると嬉しです。



2回目 Fun & Games! ~みんなで一緒に遊ぼう~ 開催日 5月15日 参加者数 21名

「Fun & Games!~みんなで一緒に遊ぼう~」を開催し、加治屋町あいご会の皆さん、外国籍の皆さん等計21名が参加しました。

今回は大学生ボランティアに協力してもらい、「一緒に遊ぶことでの交流」をコンセプトとして子ども同士がゲームで仲を深めました。イベントはまず、日本語・英語・マレーシア語の「3か国語じゃんけん列車」からスタートしました。始めの自己紹介で緊張気味だった子どもたちも少しずつ打ち解け、その後はジェスチャーゲームや新聞じゃんけん等でたっぷり遊びました!最後は、お菓子で作ったレイのお土産をプレゼント。「ゲームで自然と交流が生まれて子どもが楽しそうだった」等のお声をいただきました。



台湾文化・語学講座(入門~初級)

開催日 5月14日~7月2日 毎週土曜日 全8回 参加者数 16~27名

台湾文化交流会in鹿児島の高敬蓉(コウケイヨウ)氏を講師に迎え、台湾文化・語学講座を開催しました。講座前半では、文化紹介として台湾の歴史から始まり、台湾あるある、旅行、食文化、お祭りなど、資料や動画を通して分かりやすくご紹介いただきました。また、後半の語学講座では、発音方法や発音記号に苦戦しながらも、自分の名前や簡単なあいさつの仕方、会話練習を行い、台湾への理解を深めました。

講座を終えて、参加者からは「台湾はとても興味が有り、一度は行ってみたい国なので、今回の講座で少し近づけた気持ちになりました。」や、「今まで聞き取れなかった言葉が聞こえるようになって嬉しかった。」などの声をいただきました。



外国人相談事業

多文化共生の地域づくりの推進の一環で、外国人の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、在住外国人が抱える問題に関し、各専門団体と連携した相談事業を実施しました。

第1回 「お天気教室&防災セミナー」 開催日 5月15日 参加者数 28名

第1部では、MBCウェザーセンター長を務める住吉氏をお招きし、「自然災害」の説明や、「8.6水害」を通して鹿児島特有の災害への理解を深めました。第2部では鹿児島市危機管理課職員から台風・地震等への対応方法の説明や、防災アプリ「safety tips」等をご紹介いただきました。最後に、災害時通訳ボランティアと一緒にハザードマップを用いて、各参加者の避難所確認を行いました。

第2回 「就職・起業講座&仕事に関する相談会」 開催日 7月10日 参加者数 勉強会15名、相談会17名

就職・起業講座では「外国人住民が日本で働くための法律、仕事の探し方、就職活動時のマナー」を学んだ後、個別指導としてハローワークの説明と求人票の書き方や履歴書の書き方演習を行い、相談会では就労ビザの問題など外国人特有の相談を個別で受けました。

講師・相談員として、一般社団法人九州・アジアグローバルサポート、ハローワークに協力をいただきました。

第3回 「夏休み宿題サポート&教育に関する相談会」 開催日 8月11日、12日 参加者数 8月11日8家族21名 8月12日8家族11名

大学生・留学生のサポートボランティア6名が、日本語支援が必要な児童の夏休みの宿題をサポートしました。また、保護者の方からは学校や子どもの教育に関する相談を受けました。相談員として鹿児島市教育委員会学校教育課・青少年課に協力いただきました。

「世界の台所」

センター調理室を活用し、外国の家庭の台所を訪ねるように料理と文化習慣等を体験してもらう「世界の台所」事業を全10回で開催予定しています。第1回から第3回を下記のとおり実施しました。各回、鹿児島在住の外国人住民を講師に、料理づくりと文化講話で講師の自国を紹介していただきました。(レシピはホームページのイベントレポートに掲載してあります。)

第1回 5月22日 参加者数 8名

学生のためのウクライナの料理&文化講座



講師:ヴェロニカさん

6ypjuj (プリシニ)ウクライナ語で「赤いスープ」という意味のビーツを使った野菜スープ(ボルシチ)

第2回 6月26日 参加者数 10名

スペインの料理&文化講座



講師:ダニエルさん

Pincho Moruno(ピンチョ モルノ)肉のスパイス焼き Pisto Manchego(ピストマンチェゴ)夏野菜のトマト煮 Crema catalana(クレマカタラナ)デザート

第3回 8月21日 参加者数 9名

英語でタンザニア料理&文化講座



講師:ハワさん

Maharage(マハラゲ)豆の煮込み Samaki(サマキ)魚のトマトソース Muchicha(ムチチャ)青菜の炒め物 Ugali(ウガリ)とうもろこし粉を練った主食 Chai(チャイ)スパイスミルクティー

インターナショナルカレッジ

開催日 6月19日 参加者数 42名

海外カレッジのような参加型授業が受けられる「インターナショナルカレッジ」を開催し、42名の皆様にご参加いただきました。今回は英語がネイティブの講師を2名招き、各50分ずつディスカッション等を交えた本格的な授業が行われました。

<1時間目> 森年 エマ 日向子 氏(鹿児島外語学院) 「魚に学ぶ性の多様性」"Gender and Sexual Diversity -What We Can Learn From Fish-"

<2時間目> ベリー ボラード 氏(IBS外語学院) 「ポストコロナの世界」"A Post-COVID World -How Will Society Change After Coronavirus?-"

参加者の方々からは「普段あまり考えないトピックについて、英語で考えること自体が楽しかった」「グループディスカッションや挙手制の授業は、参加できたような気になって良かった」等のお声をいただきました。



マレーシア文化講座~日本人が住みたい国 No1 マレーシアの魅力とは~

開催日 7月3日 参加者数 25名

アジアに目を向け、交流を進めていくことを目的に、マレーシアからの留学生ナジフさんと日置市国際交流員アイダさんを講師に迎え、マレーシア文化講座~日本人が住みたい国No1マレーシアの魅力とは~を開催しました。

ナジフさんが、5年前に鹿児島に留学生として住み始めた当初は、周囲から「シンガポールやタイはわかるけど、マレーシアってどこ?何があるの?」と聞かれていたため、一般財団法人ロングステイ財団が行った調査で「日本人が長期滞在したい国No1」に自分の国が14年連続選ばれていることに驚いたそうです。第一部ではそんなナジフさんが自分自身の視点で参加者の皆さんにマレーシアの魅力伝えていただきました。

物価が安いこと、日本のスーパーや外食産業の充実、気候が夏で安定していること、地理的に見て、地震や台風も起こらないこと、更には、長期滞在ビザも可能ということで、参加者の皆さんは、住みやすい理由を改めて認識していました。

第二部では、ナジフさん、アイダさんとの交流タイム。今回の参加者の皆さんは、小学生のお子さん連れのご家族が多かったのですが、お二人のフレンドリーな人柄が伝わり、思い思いに色々な質問をして交流を深めていました。

最後に、ナジフさんから「マレーシアは、多民族国家であり、宗教はイスラム教、仏教、キリスト教、ヒンドゥ教と人それぞれ。だからこそ、違いを認め合えることで、優しい国になっている。是非マレーシアを訪れて体感してみてください」と交流会を閉じました。



七夕飾りを作ろう!

開催日 7月16日 参加者数 8名

日本の文化を、鹿児島に住む外国人の方々に体験していただくために、俳画(墨絵)と染紙を使った七夕飾りづくりを開催しました。

鹿児島国際大学マクマレイゼミ生4名とアルスクール俳画講師長沼先生にご参加いただき、七夕の歴史について英語で説明した後、グループに分かれて染紙と俳画(墨絵)を体験してもらいました。

かごしま国際交流センターにある和室を使って、長沼先生方が俳画作品をきれいに飾りつけてくださり、参加者は長沼先生方の作品を見てとてもきれいだと言っていました。

実際に俳画を描いてみると、思った以上にコツがいる作業で、墨の濃淡や絵具を混ぜる際の分量に参加者は苦戦しているようでした。しかし、最後には墨で描いた桜島や鯉、トマトやナスなど、夏の風物詩や鹿児島島の景観を短冊に描いて、きれいな作品が沢山完成しました。

染紙は、和紙を三角形に折りたたみ、三角形のはしを絵具につけてきれいな模様を作る創作です。折りたたんで絵具を付けた後の和紙を開くのに苦労しましたが、参加者は思い思いに色を組み合わせ、自分だけの作品を作ることができました。

最後に、参加者が作った短冊を笹に飾りつけ、皆で記念撮影をして終了しました。日本の七夕の歴史を盛り込みながら、短冊づくりをすることができ、七夕の歴史や短冊づくりの面白さを体験できたと、参加者に喜んでもらえました。



国際協力体験ワークショップ

開催日 8月7日 参加者数 17名(小学生:11名)

小学校4年生~6年生の皆さんへ国際協力を身近に感じてもらうことを目的に、JICA海外協力隊員として、モルディブで体育教師をされていたJICAデスク鹿児島の飯屋氏を講師に迎え、JICAの活動やモルディブについて学ぶイベントを開催しました。

国際協力=他の国のお手伝いをする。飯屋氏は、こんな表現で子どもたちにわかりやすくJICAが行っている支援活動について教えてくれました。

JICAについて学んだ後は、モルディブについてクイズ形式で学んだり、モルディブで話されているディベヒ語での挨拶を練習したり、モルディブの文字「ターナ文字」を読むことに挑戦しました。

子どもたちは、お祈りの時間を知らせる音楽が1日5回流れること、カレーを毎日食べること、世界で一番魚を食べる国と言われていることに、驚いていました。

また、在モルディブ日本大使館専門調査員の太田氏とZOOM交流を行う機会もいただき、職場から見える素敵な青い海を見せていただいたり、子どもたちからの質問に答えていただきました。

こんな機会にはめったにないと、目をキラキラ輝かせながら、子どもたちは「モルディブのどんな所が好きですか?」「モルディブの学校のクラスは何人ですか?」等たくさんの質問をしていました。

モルディブのことをたくさん学んだ一日。帰宅後、早速モルディブ新聞の作成に取り掛かって自由研究を仕上げたご姉妹や学んだことを冊子にまとめて学校に提出したお子さんもいました。夏休みの良い思い出になったのではないのでしょうか。

